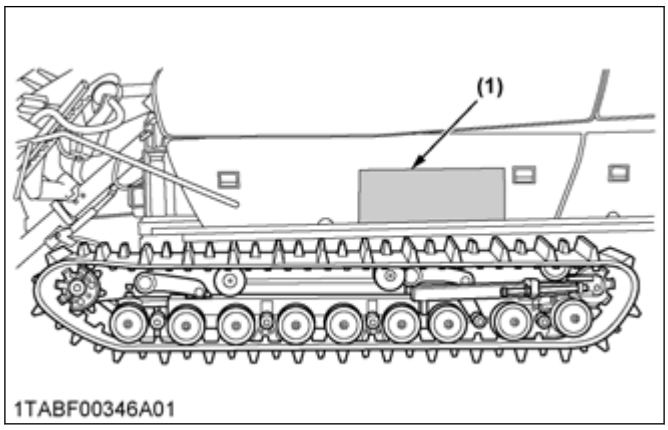
24.1.3 脱こく部の防じんあみの掃除方法

1. 防じんあみに付着しているゴミなどを掃除します。
（防じんあみおよび各フィンの掃除手順（292 ページ）を参照）

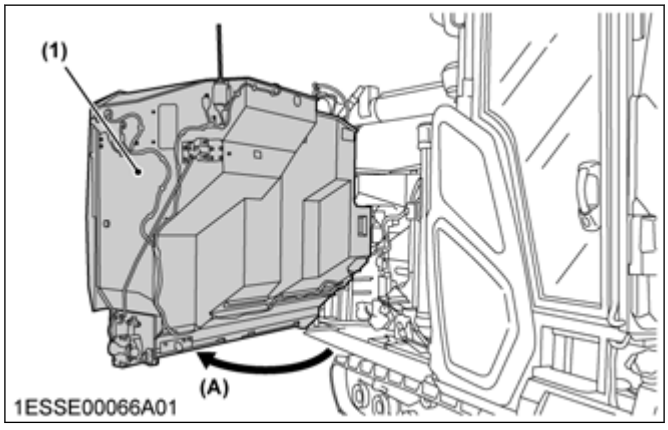


(1) 防じんあみ

25. 油水分離器（セパレータ）の点検、排水、および掃除のしかた

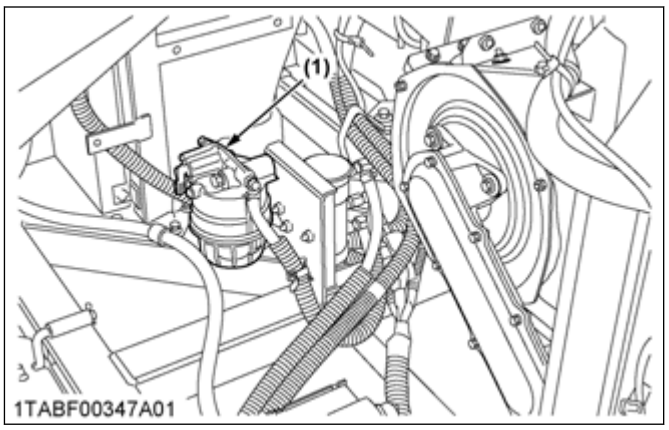
警告
- **グレンタンクの開閉範囲内に人がいないことを確認してください。**
- **傾斜地では、グレンタンクを開閉しないでください。**

1. グレンタンクを開きます。
（グレンタンクの開きかた（219 ページ）を参照）



(1) グレンタンク　　*(A)* 開く

2. 油水分離器（セパレータ）を点検し、必要であれば排水および掃除します。
（油水分離器（セパレータ）の点検手順（295 ページ）、油水分離器（セパレータ）の排水手順（295 ページ）、及び油水分離器（セパレータ）の掃除手順（296 ページ）を参照）

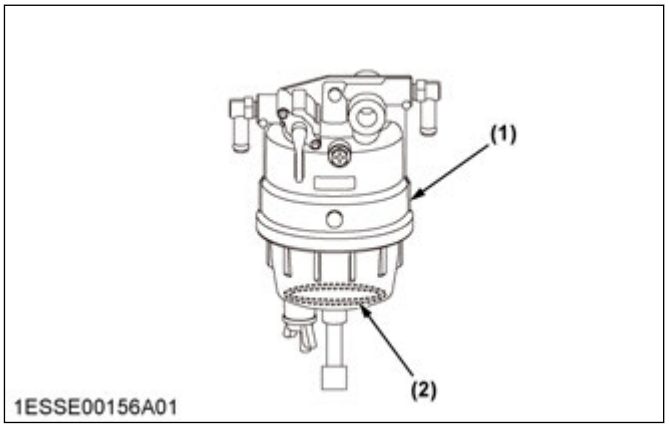


(1) 油水分離器（セパレータ）

3. 点検および排水後は、グレンタンクを閉じます。
（グレンタンクの閉じかた（223 ページ）を参照）

25.1 油水分離器（セパレータ）の点検手順

1. 油水分離器（セパレータ）の点検を行います。
2. セパレータのカップに水が貯まり、赤いフロート（浮輪）が上昇したときは排水します。
（油水分離器（セパレータ）の排水手順（295 ページ）を参照）

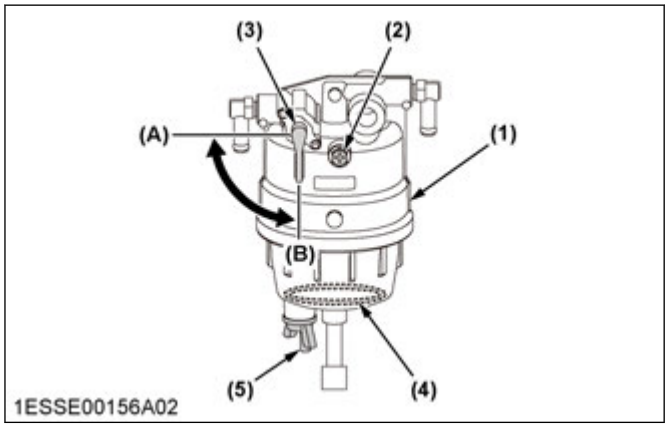


(1) 油水分離器（セパレータ）　　*(2)* フロート

25.2 油水分離器（セパレータ）の排水手順

1. セパレータの燃料コックを閉(C)位置にします。
2. エアプラグおよびドレーンプラグをゆるめて水を排出します。

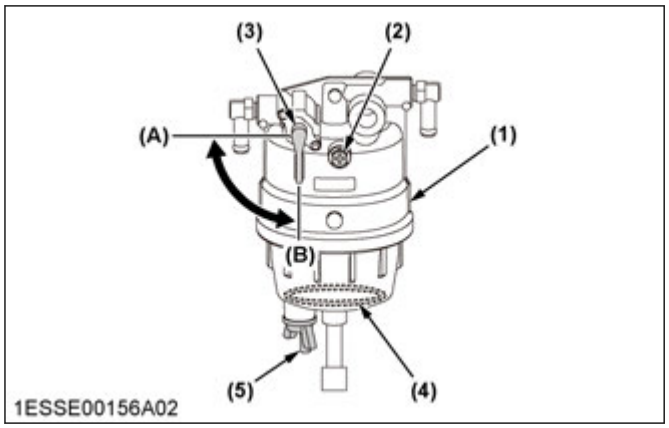
3. エアプラグおよびドレーンプラグを締付けたあと、燃料コックを開(O)位置にします。



(1) 油水分離器（セパレータ）
(2) エアプラグ
(3) 燃料コック
(4) フロート
(5) ドレーンプラグ
(A) 閉(C)
(B) 開(O)

25.3 油水分離器（セパレータ）の掃除手順

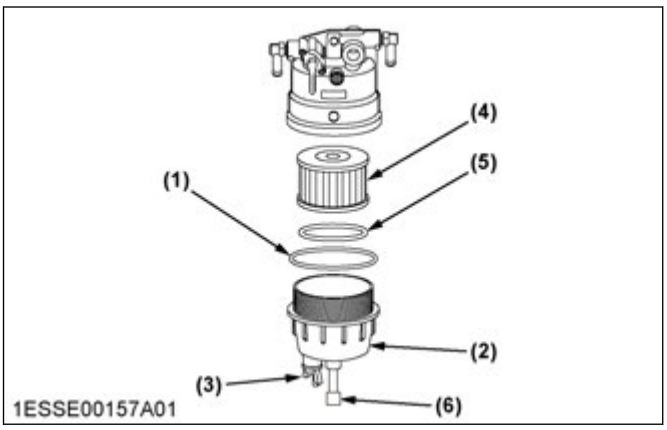
1. カップ内の水を排出します。
（油水分離器（セパレータ）の排水手順（295 ページ）を参照）
2. 水位センサのコネクタを外します。
3. カップをゆるめて取外します。
4. カップ、エレメントなどを軽油で洗浄します。
5. 取外した逆の手順でセパレータを取付けます。
6. エアプラグ及びドレーンプラグを締付けたあと、燃料コックを開(O)位置にします。



(1) 油水分離器（セパレータ）
(2) エアプラグ
(3) 燃料コック
(4) フロート
(5) ドレーンプラグ
(A) 閉(C)
(B) 開(O)

7. 水位センサのコネクタを取付けます。

重要：
- **組付けるときは、チリ及びホコリが付着しないように注意してください。**

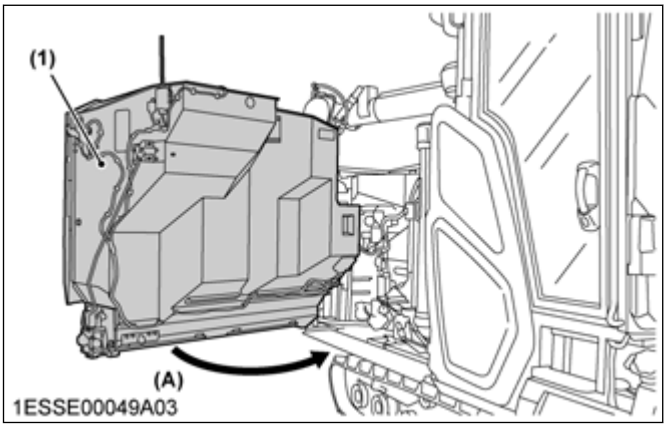


(1) O リング
(2) カップ
(3) ドレーンプラグ
(4) エレメント
(5) フロート
(6) 水位センサのコネクタ

- **O リングは傷付けないようにしてください。また、カップに正しく入れて組付けてください。**

補足：
- **赤いフロートを捨てないでください。**
- **排水後は、メインスイッチのキーを[入]位置にすると 5 秒～10 秒で自動的にエア抜きされます。**

8. グレンタンクを閉じます。
（グレンタンクの閉じかた（223 ページ）を参照）



(1) グレンタンク
(A) 閉じる

26. 燃料フィルタカートリッジの交換のしかた

警告
- **グレンタンクの開閉範囲内に人がいないことを確認してください。**
- **傾斜地では、グレンタンクを開閉しないでください。**

重要：
- **燃料内にゴミなどの異物又は水が混入すると、フィルタの目詰まりが早く及びフィルタ内に水が溜まりやすくなります。また燃料ポンプ及び噴射ノズルが摩耗し、エンジンの故障の原因となります。**